

城下町巡り

観光ガイド付きがおすすめ(P41)

村上は、新潟県下で最も古い城下町で、今なお城下町の四大要素である「城跡」、「武家屋敷」、「町屋」、「寺町」が残る全国的に希少なまちと言われていますが、この城下町巡りコースは、この四大要素が肌で感じられるコースとなっています。コースには、国指定史跡の村上城跡（お城山）、国の重要文化財の浄念寺、若林家住宅が存在するほか、城下町らしい曲がりくねった道路や堀の痕跡などを楽しむことができます。コース全長約3.8kmとややロングですが、お時間と体力のある方は、コース中にあるお城山（標高135m、片道約20分）を登ってみてください。苔むした石垣や山頂から望む城下など佳時を偲ぶことができます。また、天気の良い日は日本海に佐渡も眺められ、心身ともにリフレッシュできることと思います。



おすすめコース		約3.8km 50分
A おしゃぎり会館 (村上市郷土資料館)	50m/約徒歩1分	
B 重要文化財 若林家住宅	50m/約徒歩1分	
C 村上歴史文化館	350m/約徒歩4分	
D まいづる公園 武家屋敷	880m/約徒歩13分	
E 国指定史跡 村上城跡	400m/約徒歩6分	
F 光徳寺	300m/約徒歩4分	
G 藤基神社	500m/約徒歩7分	
H 西奈彌羽黒神社	900m/約徒歩11分	
I 重要文化財 浄念寺	130m/約徒歩2分	
J 黒堀通り (安善小路)	210m/約徒歩3分	
K 火伏せ石		

A

おしゃぎり会館
(村上市郷土資料館)

村上大祭で曳き回される「おしゃぎり」と呼ばれる山車を常時4台展示しています。

住所／村上市三之町7-9 TEL／0254-52-1347
営業時間／9:00～16:30
料金／一般300円／小・中・高校生150円
一般500円／小・中・高校生250円
(若林家住宅・村上歴史文化館共通)
定休日／年末年始 ※年始は臨時開館する場合あり

B

重要文化財 若林家住宅

二百数十年前に建築、のちに復原された若林家住宅。若林氏は村上藩の物頭（ものがしら）役150石で中級上位の家柄に属していました。曲屋づくりの茅葺平屋建で、部屋割りも細かく、典型的な中級武家住宅の特色を残しています。

住所／村上市三之町7-13 TEL／0254-52-7840
営業時間／9:00～16:30
料金／一般200円／小・中・高校生100円
一般500円／小・中・高校生250円
(おしゃぎり会館・村上歴史文化館共通)
定休日／年末年始 ※年始は臨時開館する場合あり

C

村上歴史文化館

外観は明治時代後期の擬洋風病院建築物を参考として設計。展示場には文部省唱歌「汽車」の作曲者大和田愛羅ゆかりのピアノ「キャロル・オート」や旧磐舟文華博物館収蔵の民俗資料などを展示しています。

住所／村上市三之町7-17
TEL／0254-53-3666
営業時間／9:00～16:30
料金／一般200円／小・中・高校生100円
一般500円／小・中・高校生250円
(おしゃぎり会館・若林家住宅共通)
定休日／年末年始 ※年始は臨時開館する場合あり

D

まいづる公園 武家屋敷

園内には雅子妃殿下のご祖母静様の父方の実家にあたる武家住宅「旧岡家住宅」のほか「旧岩間家住宅」、「旧藤井家住宅」の3棟の武家屋敷が一般公開されています。それぞれ特徴のある3棟の武家住宅。村上藩士の往時の生活に思いを馳せてみてください。

住所／村上市庄内町9-5
(旧岩間家・旧岡家住宅)
村上市堀片2-48 (旧藤井家住宅)
TEL／0254-52-1347 (おしゃぎり会館)
営業時間／9:00～16:30
(冬期間(12・1・2月)) 10:00～15:00
料金／無料
定休日／火曜日・年末年始

E

国指定史跡 村上城跡

村上城は、標高135mの臥牛山（がぎゅうざん）に築かれた城で、築城年代は不明ですが、16世紀前期には城が存在していたものと考えられています。山頂まで徒歩約20分です。

F

光徳寺

古くから村上藩主の菩提寺として城下町の中で唯一村上城の城内である三の丸羽黒口に建立された寺院。本堂内部には歴代内藤家当主の位牌と共に、血縁関係があった徳川將軍家の位牌13柱が安置されています。

G

藤基神社

村上藩主内藤侯のご先祖であり、徳川家康の異母弟でもあった内藤信成侯を祀ったお宮です。江戸中期に江戸永田馬場の村上藩邸に建てられました。その後、嘉永2年に村上現在の地に分霊し、藤基神社が建立されました。社殿は権現造りで、総構造り、8年の歳月をかけて、名工有磯周斎を中心に、村上の工匠たちが技の粋を結集して建立しました。緻密な技法の籠彫りによる豪奢かつ迫力のある龍や麒麟の姿をご覧ください。

H

西奈彌羽黒神社

寛永10年(1633)、時の村上藩主堀丹後守直奇が神社を上(城)から見下ろすのは長れ多いとして現在の地に遷宮しました。この遷宮祭が行われたのが6月7日で、新暦になってからは7月7日に大祭が行われています。

I

重要文化財 浄念寺

「奥の細道」の途中で芭蕉が訪れたお寺です。文化15年(1818)に建てられた本堂は、この地方では珍しい白壁土蔵造で日本で一番大きなこともあり、平成3年に国の重要文化財に指定されています。

J

黒堀通り (安善小路)

黒堀が並ぶ通りです。重要文化財のお寺などが近くにあり、趣と歴史を感じる小路です。歩いてお楽しみください。

K

火伏せ石

小町の道路におもしろい言い伝えのある珍スポット。「火伏せのいの字石」です。アスファルト舗装された道路にくっきり「いの」の文字が浮かび上がっています。言い伝えによると、村上はその昔大火の多い街だったそうで、この「いの字石」を移動したり埋めたりすると、火事が起きるといわれ、現在も、この「いの字石」を隠さないように道路舗装がされているようです。